



第7回 二紀会大阪支部選抜新人展

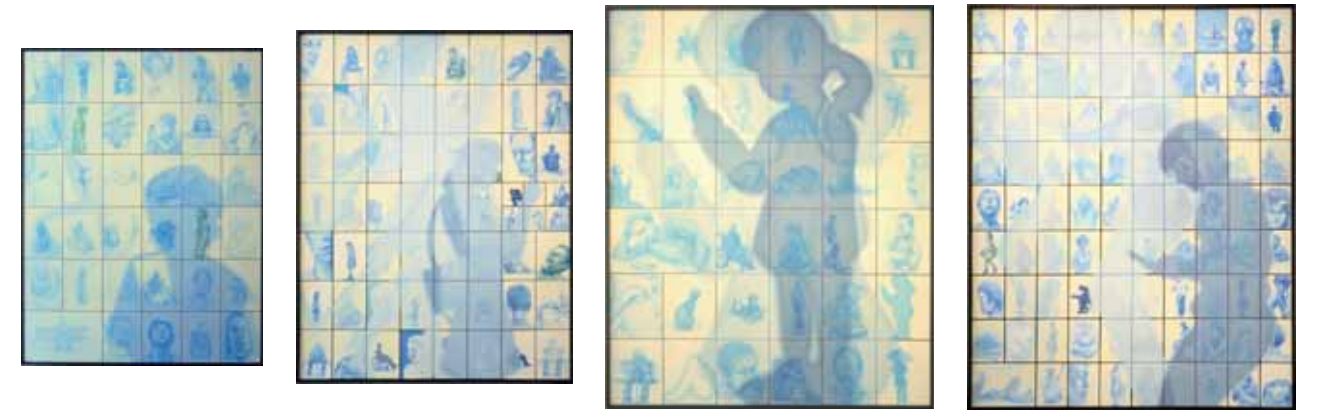
2016年2月18日(木) ~23日(火)



坂本摩七美 Sakamoto Manami



橋本 晋 Hashimoto Shin



別所 要 Bessho Yo



会場前より



左から 別所さん、坂本さん、橋本さん



オープニングパーティーの様子

橋本さんは、画面に大きく人物の陰が、そしてその奥に様々な人がいるような表情やシーンで小さく描かれています。よく見てみると、その中に携帯電話を持った人が多くいることに気づきます。今の私達の生活と切り離せられない携帯電話の世界にのめり込む現代人に警鐘を鳴らす作品と言えます。

別所さんは裸婦をモチーフに、肉感的な女性の身体の美しさを描かれています。薄暗い背景の中から身体の一部が、ふわっと光を当てたように照らされ、そのパーツの美しさや、全てが明るみにされないところにミステリアスな雰囲気がある作品です。

3人の作家のそれぞれの確立された世界観が存分に楽しめる、魅力的な展覧会でした。

今週の展覧会は、二紀会大阪支部の方々による選抜新人展です。作品研究発表の場として毎年開催されるこの会も7回目を向かえ、これからの活躍が期待される新人3名が毎回選出されています。そんな中、今回選ばれたのは坂本摩七美さん、橋本晋さん、別所要さんです。

それぞれ約100号の作品が1人3〜4点ゆったりと展示され、堂々とした貫禄があります。

坂本さんは、印象的な赤を使って階段と建物で構成された迷路のような不思議な空間を描かれています。階段はぐるぐる、登ったり降りたりと、どこまでも続き、まるでひとつの惑星のようです。絵の中の世界はどうなっているのか。中に入って迷い込んでみたい、そんな作品です。